

小学校プログラミング教育実施レポート

令和2年度から必修化された小学校プログラミング教育の実施の様子を紹介するものです。
未来の学びコンソーシアムにて実施内容の精査を行うものではありません。

学習活動名	温度計を作ろう
学年	小学校第4学年
目標	自分が決めたものの温度をはかるプログラムを作ろう。
教材タイプ	ビジュアル言語
使用教材	micro:bit
環境	児童10人で10台の端末を使用
都道府県	徳島県
実施校	辻小学校
学習活動の概要・児童の様子(プログラミングの活動を中心に記載ください。)	<p>【学習活動の概要】 micro:bit を活用して温度情報を取得し、LED画面に温度を表示する。</p> <p>【児童の様子】</p> <ul style="list-style-type: none">自分が意図した処理を行うために、どのような動きの組み合わせが必要で、どのように組み合わせるといいのかを悩みながらも、楽しそうに micro:bit に触れていた。micro:bit に温度が表示されると、自分のつくったプログラムによって動いていることに嬉しさを感じるとともに、自分たちの日常生活のさまざまな場所でコンピューターが使われており、生活を便利にしていることにも気づいているようであった。温度計が完成してからは、自分たちが事前に決めていた“はかりたいもの”の温度をはかろうと意欲的に活動に取り組み、はかるものによって表示される温度が次々と変動していく様子に興味津々であった。 <p>〔“はかりたいもの”として出ていた児童の意見〕 氷水・ポットのお湯・マスクの中 パソコン・手のぬくもり 保冷剤・体温・自分がはく息 クーラーの効いた部屋の温度</p> 
成果と課題	<p>児童同士で会話しながら試行錯誤を繰り返し、プログラムを作ろうと意欲的に活動に取り組むことができた。また、実際にプログラムしたものが動くことで喜びを味わい、プログラミングに対して興味をもつようになった。</p> <p>しかし、使用教材の大まかな操作方法を学ぶ時間も必要であったため、慣れるまでに時間がかかってしまった。普段から、プログラミングソフトについて触れる機会を増やしていくことが大切だと感じた。</p>